



石造地蔵菩薩立像(吉田の油地蔵)



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	せきぞうじぞうぼさつりゅうぞう(よしたのあぶらじぞう)
所在地	勝央町東吉田
指定年月日	昭和34年1月13日
解説	<p>真言宗東光寺の山門外の地蔵堂に祀られ、縁日に油供養を行っていたことから「吉田の油地蔵」として親しまれている。像の左右に残る刻銘から、南北朝時代の康暦2年(1380)に、円仏の発願で造立されたことが分かる。花崗岩製で、像高98cm。自然石の正面に地蔵菩薩立像が半肉彫に彫り出されている。右手に錫杖、左手に宝珠を持つ、いわゆる延命地蔵の相で、重厚な像容である。もとは東光寺の参道口にあったが、大正13年(1924)に現在地に移転している。</p> <p>※「吉」の漢字は「土」の部分が「土」</p>
アクセス方法	JR勝間田駅から徒歩10分
公開状況	外観のみ
設備	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 20px;"> <span>駐車場 </span> <span>トイレ </span> </div>
備考	